

新技術・製品情報

アスファルト系防水工法による改修工事における補助材料について

- ・アスファルト系湿気硬化型塗膜防水
- ・極薄特殊金属板粘着層付き防水テープ

■アスファルト系湿気硬化型塗膜防水材
「キュービックコート」

1. 現状

改質アスファルトルーフィングを主たる構成材とする改質アスファルト防水工法は、トーチ工法・自着（粘着）工法・接着（塗り張り）工法および複合法の4種類に大別される。どの工法も、強度および伸びに大きな優位性を持つ改質アスファルトルーフィングがその高い防水性能の裏付けのひとつとなっている。

しかしながら、改修施工する屋上面には、屋上突起物・狭隘箇所・複雑な納まり部分等、必ずしもルーフィング（シート）系材料のみによる施工がベストの納まりとならない場合も少なくないのが現状である。

2. アスファルト系塗膜防水材

そのような箇所への施工性に塗膜材として大きなアドバンテージを持ち、かつ主要防水材である改質アスファルトルーフィングに対しても、同じアスファルト系補助材料として良好な接着性能を示す、アスファルト系塗膜防水材の採用が増加している。

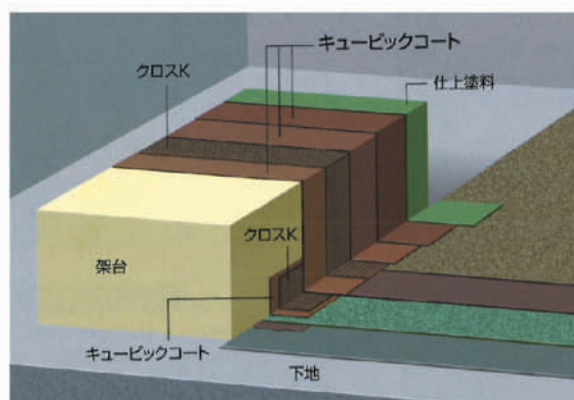
3. 製品の特徴

キュービックコートは湿気硬化型のアスファルト系塗膜防水材として、改質アスファルト防水改修施工時に多く併用されている。

特徴は、次のとおり。

- 湿気硬化型で空気中の水分に反応して硬化する
- 特にアスファルト系材料との接着性に優れている
- 無溶剤で刺激臭が無く、環境対応型である
- 原則として火気使用が無い
- 垂直面への施工もダレ落ちが非常に少ない
- 1液性で扱いが容易である
- 10kg缶入で小規模施工にも適している

従来、メーカー連名保証対象外であったものが、同じアスファルト系の塗膜防水材の併用によって免責箇所としなくて済む場合もあるので、保証の詳細についてはご相談ください。



●作業手順



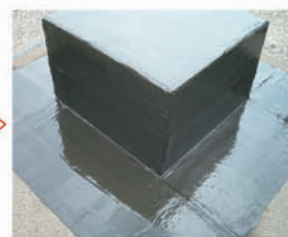
1. キュービックコート



2. クロスKの張り付け



3. キュービックコート塗布



4. 塗布完了

■極薄特殊金属片粘着層付き防水テープ 「メジテープ」

1. 現状

既存保護層（保護コンクリート）を撤去せずに防水改修する場合、すなわち「かぶせ改修」においては、既設伸縮目地の処理が重要となる。

適切な措置を講ずること無しに、改修防水層をオーバーレイすると、せり上がりやしわの発生、最悪の場合にはクラックからの破断も引き起こしかねない。

多くの改修工事では、既設伸縮目地を撤去し、バックアップ材およびシーリング材を充填した上で、テープ処理して改修防水層を新設する手法がポピュラーになっている。

2. 極薄特殊金属板

この目地処理作業について、伸縮目地機能を損なうことなく、さらに作業の省力化を図ることを目的として開発されたのがメジテープである。通常のアスファルトテープよりはるかに剛性の強い極薄特殊金属板をベースに、その裏面に施された粘着層により下地面と軟接着させることで、耐衝撃性能が向上し、安全な改修防水施工の実現に貢献するものである。

3. 製品の特徴

特徴は、次のとおり。

- 既存保護層の伸縮目地のキャップあるいははみ出し部分の撤去だけで、すぐにメジテープの施工ができるので、作業効率が良い
- 剥離フィルムを剥がすことにより、粘着層を下地に接着させることが可能、かつカッターやはさみで加工がしやすく、取り扱いが容易である
- 表面が特殊防錆処理した極薄金属板、裏面にブチルゴム系粘着層で構成されており、耐久性、特に剛性（強度：650 N/mm² ※1）に優れている
- アスファルト系防水工法だけでなく、シート系・塗膜系防水工法での採用も全く問題が無い

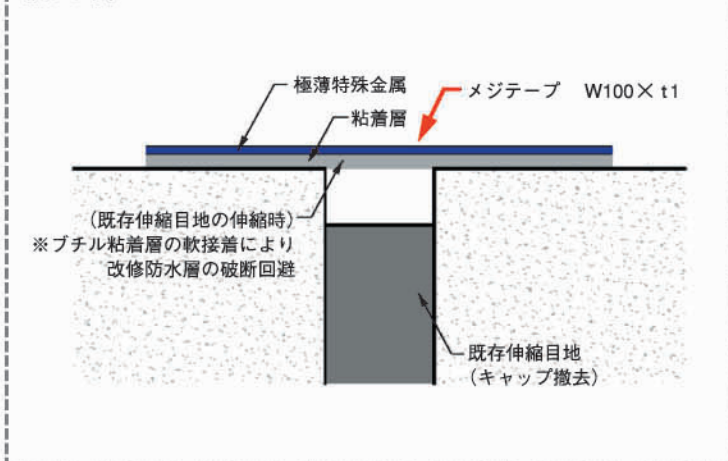
※1 日新工業(株)技術研究所の試験データによる

日新工業株式会社 営業統括部 高橋一郎



メジテープ

納まり図B



幅 100mm
長さ 16m
厚み 1mm
(フィルム込み)